

【相談内容】

No56.素掘りトンネルの復旧工法について

- ①健全性Ⅲ判定となった素掘りトンネルの補修工法について
- ②素掘りトンネルの補修設計時に必要な調査・検討について

【助言内容】

- ①詳細な情報等が不明なため代表的な補修工法を以下に示す。
 - ・吹付けコンクリート工
 - ・補強セントル工
 - ・ロックボルト工
 - ・吹き付けコンクリート工＋ロックボルト工
 - ・P C L工法（プレキャストコンクリート版を用いたライニング）など
- ②補修・補強設計に必要な調査・検討について、
 - 補修・補強設計を行う前に対象トンネルにおける以下の点についての検討が必要
 - ・応急対策工か本対策工か
 - ・あと何年供用するのか
 - ・建築限界はどの程度にするのか（通行可能な車両は、大型車か、普通車かなど）
 - ・補修後、メンテナンスフリーでいくか、補修を定期的に行っていくか
 - 調査について
 - ・内空断面の測量
 - ・地山の緩みの状況（土壌硬度計）
 - ・必要に応じて追加調査を検討（追加調査例：ひび割れ進行性調査、漏水調査など）